

## 製品安全データシート

## 1. 製品及び会社情報

製品名	SFベースコート剤
整理番号	08874K9017、08874K9018、08874K9019、08874K9020
販売会社名	株式会社 バンザイ
住所	〒105-8580 東京都港区芝2-31-19
担当部門	調達部
電話番号	03-3769-6806
FAX番号	03-3453-9036
製造会社名	株式会社 BTO
住所	〒532-0023 大阪府大阪市淀川区十三東5-2-19
担当部門	商品企画部
電話番号	06-6302-5711
FAX番号	06-6302-5712

## 2. 危険有害性の要約

GHS分類	引火性液体	区分3
	皮膚腐食性	区分1A
	急性毒性	区分4,経口
	重篤な眼の損傷性	区分1
	生殖細胞変異原性	区分1B
	発がん性	区分1B
	特定標的臓器毒性（単回暴露）	区分3
	吸引性呼吸器有毒性	区分1
	急性水生毒性	区分3
	慢性水生毒性	区分3

## GHSラベル要素



## 注意喚起語

危険

## 危険有害性情報

H226: 引火性の液体及び蒸気。  
H302: 飲み込みと有害。  
H304: 飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ。  
H314: 重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷。  
H335: 呼吸器への刺激のおそれ。  
H340: 遺伝性疾患のおそれ。  
H350: 発がんのおそれ。  
H412: 長期的影響により水生生物に有害。

**製品安全データシート****注意書き****安全対策**

- P201: 使用前に取扱説明書を入手すること。  
P202: 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。  
P210: 熱 / 火花 / 裸火 / 高温のもののような着火源から遠ざけること。-禁煙。  
P233: 容器を密閉しておくこと。  
P240: 容器を接地すること / アースをとること。  
P241: 防爆型の電気機器 / 換気装置 / 照明機器を使用すること。  
P242: 火花を発生させない工具を使用すること。  
P243: 静電気放電に対する予防措置を講ずること。  
P261: 粉じん / 煙 / ガス / ミスト / 蒸気/スプレーの吸入を避けること。  
P264: 取扱い後は皮膚をよく洗うこと。  
P270: この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。  
P271: 屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。  
P273: 環境への放出を避けること。  
P280: 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

**処置**

- P301+P310: 飲み込んだ場合：直ちに医師に連絡すること。  
P301+P330+P331: 飲み込んだ場合：口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。  
P303+P361+P353: 皮膚または髪に付着した場合は：直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと / 取り除くこと。皮膚を流水 / シャワーで洗うこと。  
P304+P340: 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。  
P305+P351+P338: 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。  
P310: 直ちに医師に連絡すること。  
P321: 特別処理（このラベルの補足の応急処置指示参照）。  
P363: 汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。  
P370+P378: 火災の場合：消火には乾燥砂、粉末消火剤（ドライケミカル）、または耐アルコール性フォームを使用する。

**保管**

- P403+P233: 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。  
P403+P235: 換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置

## 製品安全データシート

くこと。

P405: 施錠して保管すること。

**廃棄** P501: 廃棄する場合は都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物の収集運搬業者や処分業者と契約し、廃棄物処理法（廃棄物の処理及び清掃に関する法律）及び関連法案・法令を遵守し適正に処理する。

## 最重要危険有害性

**特定の危険有害性** 水と接触すると水素、アンモニアおよびシランを発生させる。

## 3. 組成・成分情報

## 単一物質・混合物の区分 混合物

化学名	含有率 (%)	官報公示整理 No.	CAS No.
ポリ(ペルヒドロシラザン)	1	(2)-3642	90387-00-1
ジブチルエーテル	40-50	(2)-363	142-96-1
脂肪族/脂環式炭化水素混合物	40-50	(9)-1689	64742-48-9
水素化された石油軽留物	1-10	(9)-1700	64742-47-8
オクタンおよびその異性体	<1	(2)-8	

## GHS危険有害性成分

化学名	含有量 (%)	官報公示整理 No.	CAS No.
ジブチルエーテル	40-50	(2)-363	142-96-1
脂肪族/脂環式炭化水素混合物	40-50	(9)-1689	64742-48-9
水素化された石油軽留物	1-10	(9)-1700	64742-47-8
オクタンおよびその異性体	<1	(2)-8	

## 4. 応急措置

**吸入した場合** 被災者を新鮮な空気のところへ移動させ、安静を保つ。  
呼吸が弱かったり止まっていたりする場合、衣類をゆるめ気道を確保した上で人工呼吸を行なう。  
直ちに医療処置をうける手配をする。

**皮膚に付着した場合** 皮膚に付着した場合、直ちに石鹼および水で洗い流すこと。  
汚染された衣類、靴などを速やかに脱ぎ捨てる。必要であれば切断して取り除く。  
刺激が続く場合はできるだけ速やかに医師による診断と医療処置を受ける手配をする。

## 製品安全データシート

眼に入った場合	最低15分間、清浄な水でゆるやかに眼の洗浄を行なう。できるだけ速やかに医師による診断と医療処置を受ける手配をする。
飲み込んだ場合	被災者に意識がある場合、水又は牛乳を与えて胃内を薄める。無理やり吐かせてはいけない。被災者を安静にさせできるだけ速やかに医師による診断と医療処置を受ける手配をする。

## 5. 火災時の措置

消火剤	二酸化炭素(炭酸ガス)・粉末(BC)消火器・耐アルコール泡消火器・不活性ガス
使ってはならない消火剤	粉末消火器(ABCタイプ、リン酸塩類の消火器は使用しないこと)・水
消火を行なう者の保護	全身保護衣を着用すること。 火災の際には適切な呼吸器を着用する。
特定の消火方法	蒸気を吸入しないために風上に移動する。 火災の現場から製品を退避させるか、蓄熱による(容器内の)圧力上昇を抑えるため容器を水の噴霧により冷却する。

## 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項	換気を充分にとり、部外者の立ち入りを防ぐこと。 適切な保護具を着用すること。
環境に対する注意事項	排水溝、水系あるいは土壌等へ流してはならない。 適切な防護措置により拡散を防ぐこと。
除去方法	回収が終わるまで十分に換気を行い、作業の際には適切な保護衣を着用する。漏出物は不活性な物質(乾燥砂、土、おがくず、ウエス等)を用いて吸収させ、廃棄用容器に回収する。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	
技術的対策	熱源、スパークおよび火気から遠ざけること。 蒸気の吸入や皮膚、眼及び衣類への接触を避けること。 取扱いの後は手等を十分に洗浄すること。 (使用後は)常に容器を密閉すること。
注意事項	静電気の帯電への予防対策をとること。
保管	
技術的対策	製品提供時の容器で保管すること。 十分に換気のとれた涼しい場所で容器を密閉し保管する。
保管条件	適用される法令・法規等に従って保管を行なう。

## 製品安全データシート

## 8. 暴露防止及び保護措置

設備対策	ドラフトチェンバーあるいは局所排気装置等の使用下で取り扱うこと。 作業場所には緊急時のシャワー設備や洗眼設備を設置すること。
保護具	
呼吸器の保護具	不十分な排気・換気または長時間にわたる暴露には呼吸保護具を用いること。
手の保護具	保護手袋(耐有機溶剤)
眼の保護具	リスクの程度に応じて眼に対する保護具を着用すること(サイド保護付き保護眼鏡あるいは保護ゴーグル、必要に応じて保護シールド)。
身体への保護	皮膚への接触を避けるため適切な保護具を着用する。 保護服(耐有機溶剤)

## 9. 物理的及び化学的性質

外観	形状	液体
	色	無色透明
臭い		ミネラルスピリット様臭
引火点		29 °C
		ジブチルエーテル
溶解性	水溶性	不溶

## 10. 安定性及び反応性

避けるべき条件	強酸化剤との接触を避けること。また強酸性および強塩基物質との接触は本製品の加水分解をおこすおそれがある。 水およびアルコールとの接触を避けること。 熱源、スパークおよび火気から遠ざけること。
危険有害な分解生成物	本製品は水の存在により徐々に加水分解され、水素及びアンモニアガスを発生する。さらにシロキサンも生成する。 熱分解により二酸化炭素(CO <sub>2</sub> )、一酸化炭素(CO)、窒素酸化物(NO <sub>x</sub> )を発生させるおそれがある。残渣物として酸化ケイ素を含む。
反応性	水の存在により徐々に加水分解され、水素、シランおよびアンモニアガスを発生させる。

## 11. 有害性情報

製品情報	
皮膚腐食性及び刺激性	腐食性(corrosive)あり。(ウサギ)

## 製品安全データシート

分類：腐食性(corrosive)あり。

方法：OECD 404(類縁製品の分析による)

## 眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性

眼に重度の障害を与えるリスクがある。

分類：腐食性(corrosive)あり。

本製品は未試験（眼腐食・刺激性）です。本情報は皮膚刺激性の結果に基づき分類されました。

## 発がん性

本製品には国際的に発がん性物質として知られる一つあるいはそれ以上の物質が0.1%以上含まれています。

## 組成情報

ジブチルエーテル

急性毒性（経口） LD50: 5,686mg/kg(ラット)

急性毒性（経皮） LD50: 7,745mg/kg(ラット)

皮膚腐食性及び刺激性 重度の皮膚刺激性(ウサギ)

## 眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性

強い(severe)眼刺激(ウサギ)

特定標的臓器毒性（単回暴露） 眠気又はめまいのおそれ。

脂肪族/脂環式炭化水素混合物(64742-48-9)

変異原性 生体内テストで突然変異誘発性が示された。

発がん性 ヒトに対して発がん性の可能性のある物質。

EU CLP-Annex VI Table 3.1: 区分1B

吸引性呼吸器有害性 飲み込んで気道に侵入すると生命に危険の恐れ。

オクタンおよびその異性体

皮膚腐食及び刺激性 皮膚刺激性

## 眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性

眼刺激性

特定標的臓器毒性（単回暴露） 標的臓器：中枢神経系

臓器の障害。

標的臓器：気道刺激性、麻酔作用

呼吸器への刺激のおそれ。

眠気又はめまいの恐れ。

吸引性呼吸器有害性 飲み込んで気道に侵入すると生命に危険の恐れ。

## 12. 環境影響情報

## 製品情報

## その他の環境影響情報

生態系に関する追加情報

環境影響に関する調査（試験）は本製品において実施しておりません。

## 組成情報

## 製品安全データシート

ジブチルエーテル(142-96-1)

生態毒性	EC50: 26mg/l(48h), Daphnia magna (オオミジンコ)
生分解性	難分解性(3%)
生化学的酸素要求量(BOD)	3%

水素化された石油軽留分(64742-47-8)

生体毒性	LC50: 2.2mg/l(96h), Lepomis macrochirus (ブルーギル サンフィッシュ)
生分解性	難分解性

オクタンおよびその異性体

生体毒性	EC50: 0.18mg/l(48h), Daphnia magna (オオミジンコ)
------	---

## 13. 廃棄上の注意

## 残余廃棄物

下水、地中、水中への廃棄を行なってはならない。

焼却する場合は関連法規・法令を遵守する。廃棄する場合は都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物の収集運搬業者や処分業者と契約し、廃棄物処理法(廃棄物の処理及び清掃に関する法律)および関連法規・法令を遵守し適正に処理する。

## 製品が付着している容器・包装

空容器を廃棄する場合は、内部に付着した物を完全に除去し、上記の方法に従って廃棄を行う。

## 14. 輸送上の注意

## 国際規制

IATA

UN number	2920
Description of the goods	CORROSIVE LIQUID, FLAMMABLE, N.O.S. (Poly(perhydrosilazane), Di-n-butyl ether)
Class	8
Packing group	II
Labels	8 (3)
Environmentally hazardous	no

IMDG

UN number	2920
Description of the goods	CORROSIVE LIQUID, FLAMMABLE, N.O.S. (Poly(perhydrosilazane), Di-n-butyl ether)
Class	8
Packing group	II

**製品安全データシート**

Labels	8 (3)
EmS number 1	F-E
EmS number 2	S-C
Marine pollutant	no

**15. 適用法令**

**化審法** 規制されない。

**労働安全衛生法**

平成28(2016)年5月31日まで

有機溶剤中毒予防規則, 第三種有機溶剤等

ミネラルスピリット (ミネラルシンナー、ペトロニウムスピリッツ、  
ホワイトスピリッツ及びミネラルターペンを含む)

名称等を通知すべき危険物および有害物 (法第57条の2)

ミネラルスピリット (ミネラルシンナー、ペトロニウムスピリッツ、  
ホワイトスピリッツ及びミネラルターペンを含む)

平成25(2016)年6月1日以降

有機溶剤中毒予防規則, 第三種有機溶剤等

ミネラルスピリット (ミネラルシンナー、ペトロニウムスピリッツ、  
ホワイトスピリッツ及びミネラルターペンを含む)

名称等を表示すべき危険物および有害物 (法第57条の1)

ミネラルスピリット (ミネラルシンナー、ペトロニウムスピリッツ、  
ホワイトスピリッツ及びミネラルターペンを含む)

名称等を通知すべき危険物および有害物 (法第57条の2)

ミネラルスピリット (ミネラルシンナー、ペトロニウムスピリッツ、  
ホワイトスピリッツ及びミネラルターペンを含む)

**毒物及び劇物取締法** 規制されない。

**消防法** 第四類 引火性液体 第二石油類 危険等級III、非水溶性、  
指定数量1,000L

**PRTR法** 規制されない。

**16. その他の情報**

記載内容は現時点で入手可能な資料、データに基づいて作成しており、使用、処理、保管、輸送、廃棄、漏洩時の処理等を安全に行っていただくために作成されたものです。また記載されている情報はいかなる保証もするものではなく、品質を特定するものでもありません。



## 安全データシート

## 1. 化学品及び会社情報

化学品の名称：

製品名称：SF トップコート剤

製品番号(SDS NO)：08874K9017、08874K9018、08874K9019、08874K9020

推奨用途及び使用上の制限

推奨用途：自動車ボディコーティング

供給者情報詳細

販売会社名：株式会社バンザイ

住所：〒105-8580 東京都港区芝2-31-19

担当部門：調達部

電話番号：03-3769-6806

FAX番号：03-3453-9036

製造会社名：株式会社BTO

住所：〒532-0023 大阪市淀川区十三東5-2-19

担当部門：商品企画部

電話番号：06-6302-5711

FAX番号：06-6302-5712

## 2. 危険有害性の要約

製品のGHS分類、ラベル要素

GHS分類

物理化学的危険性

引火性液体：区分 3

健康に対する有害性

危険有害性の分類に該当するという情報なし。

環境有害性

危険有害性の分類に該当するという情報なし。

(注)記載なきGHS分類区分：該当せず/分類対象外/区分外/分類できない

GHSラベル要素



注意喚起語：警告

危険有害性情報：引火性液体及び蒸気

注意書き：安全対策 熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざけること。禁煙。容器を密閉しておくこと。容器を接地すること/アースをとること。防爆型の電気機器/換気装置/照明機器を使用すること。火花を発生させない工具を使用すること。静電気放電に対する予防措置を講ずること。保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

応急措置：火災の場合：消火するために適切な消火剤を使用すること。

皮膚(又は髪)に付着した場合：直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を流水/シャワーで洗うこと。

保管：換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。

廃棄：内容物/容器を現地/地域/国/国際法律に従って処理すること。

SDS SFトップコート剤(2版)

## 3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別：  
混合物

成分名	含有量(%)	CAS No.	化審法番号
オルガノシロキサン	100	非公開	非公開

注記:これらの値は、製品規格値ではありません。

## 4. 応急措置

吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移動する。症状が悪化したり継続したりする場合は医師に連絡すること。  
皮膚に付着した場合: 汚染された衣類すべてを直ちに脱ぐ。皮膚を石鹼と水で洗うこと。刺激が強まったり続く場合には医師の手当てを受けること。

目に入った場合: 直ちに多量の水で15分以上洗浄すること。コンタクトレンズをしていて容易に取り外せる場合は取り外す。刺激が強まったり続く場合には医師の手当てを受けること。

飲み込んだ場合: 口をすすぐこと。直ちに医師の手当てを受けること。

## 5. 火災時の措置

消火剤: 水噴霧。泡消火剤。粉末消火剤。二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)。

使ってはならない消火剤: 棒状水による消火は、火災が激しくなったり飛び火したりするので、やってはならない。

火災時の特有の危険有害性: 加熱および火災により有害な蒸気/ガスが生成されることがある。

特有の消火方法: 火災や爆発の場合、ヒュームを吸入してはならない。もし危険を冒さずにできる場合は、火災区域から容器を移動させる。

## 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、

保護具及び緊急時措置: 関係者以外の立ち入りを禁止する。流出が著しくて回収できない場合は、現地当局に通告すべきである。閉鎖された場所に入るときは事前に換気を行う。適切な保護具を着用する。

環境に対する注意事項: 安全を確認してから、流出防止の措置をとる。下水や水路、土壌への排出を避ける。

封じ込め及び浄化の方法及び機材: 全ての着火源を取り除く(その場での喫煙、炎、スパークまたは火炎は禁止)。可燃性物質(木材、紙、油など)を流出物から遠ざける。

大量の漏出: 危険を伴わずに出来る場合には、物質の流れを止める。可能な場合は漏出物が広がるのを防止すること。プラスチックのシートで覆い、拡散を防止する。パーミキュライト、砂、土などの不燃性材料を用いて製品を吸収し、廃棄のため容器に収める。

少量の漏出: 布等の吸収材で拭き取る。残った汚染を除去する為に床をよく清掃すること。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策(局所排気、全体換気等): 製品を取り扱う時に使用するすべての装置は、接地しておく必要がある。火花を発生させない。工具および防爆型装置を使用する。適切な換気を行う。

安全取扱い注意事項: 取扱い/保管は慎重に行うこと。裸火、熱源または発火源の近くで、取り扱ったり、保管したり、開けてはいけない。直射日光に当てないようにする。取扱中は禁煙。静電気の放電防止策を施す。ミスト又は蒸気を吸入しないこと。

接触回避: 『10.安定性及び反応性』を参照。

適切な衛生対策: 休憩前や製品取扱い直後には手を洗う。適切な産業衛生および安全対策のもとに取扱う。

## SDS SFトップコート剤(2版)

## 保管

安全な保管条件:熱、火花、裸火から離して保管する。換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。子供の手の届かないように保管すること。直射日光が入らない、涼しく乾燥した場所に貯蔵すること

## 8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度(暴露限界値)および管理濃度:含有成分に関して暴露限界は設定されていない。

設備対策:防爆型の全体および局所排気型換気装置。洗眼設備を設置する。

## 保護具

呼吸器の保護具:換気が不十分な場合、適切な呼吸用保護具を着用すること。

手の保護具:保護手袋を着用すること。

目の保護具:側板付安全眼鏡(またはゴーグル)を着用すること。

皮膚及び身体の保護具:適切な保護衣を着用する

## 9. 物理的及び化学的性質

基本的な物理的及び化学的性質に関する情報

## 物理的状态

形状:液体

色:無色～淡黄色

臭い:特有臭

物理的状态が変化する特定の温度/温度範囲

初留点/沸点:153°C

引火点:(密閉式)37°C

自然発火温度:>300°C

蒸気圧:0.53kPa(20°C)

比重/密度:0.84

## 溶解度

水に対する溶解度:不溶

## 10. 安定性及び反応性

化学的安定性:通常の保管条件/取扱い条件において安定である。

混触危険物質:強酸化性物質

## 11. 有害性情報

毒性学的影響に関する情報

## 急性毒性

急性毒性(経口)

[類似品より推定]

rat LD50>5000mg/kg

## 12. 環境影響情報

生態毒性:知見なし。

## 13. 廃棄上の注意

地域の廃棄規制:焼却処理。その際、シリカの微粉が生成致しますので適切な設備での焼却をお願い致します。また、必要に応じて防塵マスク等の保護具の着用をお願い致します。廃棄物処理法の許可を受けた業者に処理を委託する。内容物/容器を地域/地方/国/国際規則に従って処理すること。

## SDS SFトップコート剤(2版)

## 14. 輸送上の注意

国連番号、国連分類

番号：1993

品名(国連輸送名)：

その他の引火性液体、N.O.S.

国連分類(輸送における危険有害性クラス)：3

容器等級：III

指針番号：128

## 15. 適用法令

労働安全衛生法

危険物 引火性の物

特化則

第一類物質

該当せず

第二類物質

該当せず

第三類物質

該当せず

有機則

第一種有機溶剤

該当せず

第二種有機溶剤

該当せず

第三種有機溶剤

該当せず

通知対象物

該当せず

表示対象物

該当せず

毒物及び劇物取締法

該当せず

化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律

第一種特定化学物質

該当せず

第二種特定化学物質

該当せず

監視化学物質

該当せず

優先評価化学物質

該当せず

化学物質排出把握管理促進法

特定第一種指定化学物質(物質名、政令番号、含量)

該当せず

第一種指定化学物質(物質名、政令番号、含量)

該当せず

第二種指定化学物質(物質名、政令番号、含量)

該当せず

消防法 第四類第二石油類(非水溶性液体) 危険等級III

船舶安全法・危規則 引火性液体類

航空法・施行規則 引火性液体類

火薬類取締法 該当せず

SDS SFトップコート剤(2版)

高圧ガス保安法 該当せず  
海洋汚染防止法 該当せず

## 16. その他の情報

### 参考文献

Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, (5th ed., 2013), UN  
Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 18th edit., 2013 UN  
Classification, labelling and packaging of substances and mixtures (table3-1 ECNO6182012)  
2012 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK(US DOT)  
2015 TLVs and BEIs. (ACGIH)  
<http://monographs.iarc.fr/ENG/Classification/index.php>  
JIS Z 7253 (2012年)  
JIS Z 7252 (2014年)  
2015 許容濃度等の勧告 (日本産業衛生学会)  
Supplier's data/information  
GESTIS-Stoffdatenbank

### 責任の限定について

本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によって改訂される事があります。また、注意事項は通常の実施を前提としたものであって、特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。  
ここに記載したGHS分類区分の算定根拠は現時点における日本公表データ (NITE 平成26年度)です。但し、当社の判断に基づいて、データ一部変更しております。